

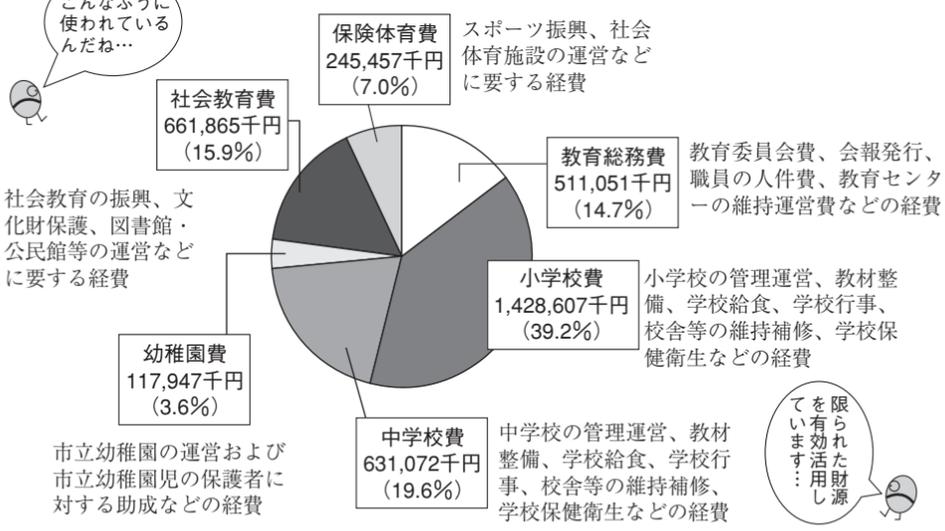
お知らせします
平成19年度
教育費予算の概要と
主な事業

平成19年度東久留米市一般会計予算は33億7,530万円で、前年度比4.7%の増となりました。このうち教育費は35億9,600万円で、前年度比5.8%の増で、一般会計に占める割合は10.6%となっています。教育委員会では、教育目標を基本として学校

【主な事業】

- 〔総務課〕
◆教育委員会だよりの発行(年2回・全戸配布)
◆学校図書書の充実◆小学校大規模改修工事(本村小)◆プール改修工事(神宝小・東中)◆暖房機の更新(全小中学校)◆小学校改修・補修工事(第五小・第九小)
◆就学援助費◆小学校給食ポイラーの更新(第五小・第七小・第九小)◆牛乳保冷庫の更新(8小学校)
◆特色ある教育活動推進事業◆学校教育サポーター事業◆小・中学校学力調査◆理科支援員配置事業◆外国人による英語教育事業◆教育センター管理事業◆教育相談事業◆小・中学校移動

<平成19年度教育予算の内訳>



小学校の管理運営、教材整備、学校給食、学校行事、校舎等の維持補修、学校保健衛生などの経費
中学校の管理運営、教材整備、学校給食、学校行事、校舎等の維持補修、学校保健衛生などの経費
市立幼稚園の運営および市立幼稚園児の保護者に対する助成などの経費
社会教育の振興、文化財保護、図書館・公民館等の運営などに要する経費
スポーツ振興、社会体育施設の運営などに要する経費
教育委員会費、会報発行、職員の人件費、教育センターの維持運営費などの経費
限られた財源を有効活用しています

教育委員会の動き

第12回定例会 (18年12月19日)
(諸報告) 市議会(第4回定例会)報告について(成人式について)
(議案) 平成19年度東久留米市教育委員会教育目標及び基本方針について(東久留米市教育委員会事務決裁規程の一部改正について)
(議案) 東久留米市奨学資金に関する条例施行規則の一部改正について(東久留米市中学校給食調査委員会設置に関する規則の廃止について)
(議案) 東久留米市立学校給食問題

第3回定例会 (3月2日)
(議案) 東久留米市立学校の管理運営に関する規則の全部改正について(諸報告)市議会(第1回定例会)報告について、他1件
第1回臨時会 (3月30日)
(議案) 東久留米市教育委員会職員の任免について、他2件(諸報告)市議会(第1回定例会)報告について、他3件
第4回定例会 (4月9日)
(諸報告) 復籍制度の実施について、他4件



第34回子どもまつり

教室事業◆不登校対策事業◆連合音楽行事◆小学校英語活動
(生涯学習課)
◆市民大学の運営(短期・中期コース、防災まちづくり学校)◆青少年指導者養成・育成講座◆成人の日のつどい◆多摩・島しょ子ども体験塾◆市民ギャラリー◆文化財資料調査(東久留米のあゆみ)◆埋蔵文化財の調査・資料整理◆文化財の活用(郷土史講座・市内文化財めぐりの開催)◆郷土資料室等の運営◆文化財の活用(郷土史講座・市内文化財めぐりの開催)◆少年少女駅伝大会◆各種体育施設等の管理・整備(スポーツセンター・テニスコート・ゲートボール場、野球場など)◆中学校スポーツ大会の実施◆多摩・島しょ子ども体験塾事業
(図書館)
◆障害者サービス事業◆図書館資料等の購入(図書・紙芝居、CD、カセットテープ、備品等)◆ブックスタート事業

郷土資料室の展示が8月1日から公開を予定

昨年「わくわく健康プラザ」内に移転した郷土資料室は、旧滝山小学校の4教室と廊下・倉庫を改修(全体面積363㎡)して、「事務所・文献資料室」「資料整理室」「歴史展示室」「資料保管室」「展示コーナー」があります。このうち、8月1日から「歴史展示室」「展示コーナー」を公開する予定です。

①歴史展示室…多摩地域でも貴重な資料として注目されている旧石器時代(3万年前~1万年前)や縄文時代(8千年前~4千年前)の遺跡から発掘調査によって出土した土器や石器などの生活用具を展示(日本に一つしかない「イノシシ」の装飾のついた縄文土器)も展示。②展示コーナー…エントランススペースを活用して東久留米で使われた農具などの暮らしの道具を紹介。③資料保管室…市民から寄贈された「写真コレクション」や「昆虫コレクション」、市所蔵の「古文書資料」などを保管しながら、市の歴史調査などに使用します。



イノシシの装飾のある5,000年前の縄文土器(多聞寺前遺跡出土)

市が所蔵する農具などの民具や考古資料の多くは他の施設に収蔵していますが、郷土資料室は、文化財の保護と活用を中心施設として、考古学や歴史の専門の職員を配置しています。また、都内および近隣市の郷土史や埋蔵文化財関係の図書約7,000冊の蔵書があり、その一部の閲覧もできます(事前の申し込みが必要)。

東久留米市郷土資料室
開室時間(予定)…月曜日~土曜日の午前8時30分~午後5時(展示は午前9時~午後4時30分)。埋蔵文化財包蔵地の照会や手続きは月曜日~金曜日
休日(予定)…日曜日、祝日、12月28日~1月4日、資料整備のための臨時休日
住所…滝山4-3-14「東久留米市わくわく健康プラザ」北棟2階
連絡先…042-472-0051 FAX042-472-0057

祝
西中学校ハンドボール部女子が優勝!

「第2回春の全国中学生ハンドボール選手権大会(日本ハンドボール協会主催・中学校体育連盟後援)」が富山県の氷見市で行われました。この大会で西中学校ハンドボール部女子が優勝し、昨年の男子優勝に続き2年連続で優勝を果たしました。この大会の初日は北陸地方を襲った地震のあった日で試合も中断し、また風邪がはやり40度近い発熱に苦しんだ生徒もいて体調も万全ではありませんでしたが、決勝戦は埼玉県三郷北中学校に24対23という1点差の勝利をおさめました。現在も尾石教諭の指導の下、夏の全国大会3連覇を目指して日々練習に励んでいます。応援よろしくお祈りします。

人と出会い 本と出会い 豊かな子ども時代を
「東久留米市子ども読書活動推進計画」を策定
子どもたちは、読書活動をとおり言葉や学び、多くの知識を身につけ、深く考える力をつけていきます。また、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにしていくためにも、読書活動は大変重要なものです。
市では、読書の持つ計り知れない価値を認識し、子ども読書活動を支援するため、子ども読書活動推進計画を策定しました。この計画の期間は、平成19年度から概ね5年間とします。詳しくは中央図書館475・4646へ。

《計画の基本理念》
子どもは、よい環境のなかで、よい環境のなかで、読書に対する興味・関心を高め、読書の持つ計り知れない価値を認識し、子ども読書活動を支援するため、子ども読書活動推進計画を策定しました。この計画の期間は、平成19年度から概ね5年間とします。詳しくは中央図書館475・4646へ。

《計画の基本方針》
子どもの読書習慣は、日々の暮らしの中から始まります。読書は、本来個人の自主的な活動であり、大人や教師等が強制したり、干渉したりするものではありません。大人の役割は、子どもが生き生きと暮らし、豊かな心と生きる力を育むための取り組みの一つとして、子どもが本と出会い、読書に対する興味・関心を高め、読書の持つ計り知れない価値を認識し、子ども読書活動を支援するため、子ども読書活動推進計画を策定しました。この計画の期間は、平成19年度から概ね5年間とします。詳しくは中央図書館475・4646へ。

《読書活動推進のための取り組み》
【家庭・地域における読書の推進】
○子どもの身の回りには本を備え、よい出会いをつくり出します。保護者に絵本や読書の楽しさを伝え、子どもが読書の楽しさを体験し、読書への興味・関心を高め、読書の持つ計り知れない価値を認識し、子ども読書活動を支援するため、子ども読書活動推進計画を策定しました。この計画の期間は、平成19年度から概ね5年間とします。詳しくは中央図書館475・4646へ。